

世代別・職業別タウンミーティングでいただいた意見と市の対応

『テーマ：ボランティア活動を通じた福祉について』 平成27年8月5日（水）19:00～

☆	意見の内容	対応可能性と 対応時期	対応策または 不可能な理由等	担当課
1	福祉施設の職員は、つながりのある社会づくりに貢献したいと思っている。松山市は、福祉施設の職員にどういったボランティアをしてほしいのか希望を聞かせてほしい。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>松山市としては、地域の中でつながりを深め、地域に密着したボランティア活動を進めていただきたいと思います。</p> <p>ぜひ、福祉施設や福祉分野のNPOの方には、地域の行事等で、介護などのノウハウを活用した手助けにご協力いただき、また地域の方も福祉施設に出向くなど、良好な関係を築いていただきたいと思います。</p> <p>また、平成29年に愛媛県で開催される第72回国民体育大会と第17回全国障害者スポーツ大会では、手話や要約筆記の情報支援ボランティアや、選手団の介助を行うサポートボランティアなど多くの方の支援が必要となります。</p> <p>国民体育大会のボランティア募集については、すでに愛媛県のホームページ等に掲載されており、全国障害者スポーツ大会についても平成28年度から募集を開始する予定ですので、ぜひ福祉施設の方にもボランティア登録していただきたいと思います。</p>	<p>市民参画まちづくり課 大石 和可子 089-948-6330</p> <p>障がい福祉課 中野 朱美 089-948-6353</p> <p>高齢福祉課 橋口 徳則 089-948-6410</p>
2	商業施設など、よく行く場所に耳マークが提示されていない。耳マークの表示や筆談ができるなどの障害者への情報提供や体制づくりをしてほしい。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中	<p>耳の不自由な方がコミュニケーションを取りやすくなるよう、携帯ホワイトボードなど筆談用具を設置しての対応や「耳マーク」の普及について、デパートや「おもてなしコンビニ」で連携しているコンビニ店舗に現在、依頼しています。</p>	<p>障がい福祉課 大内 範子 089-948-6353</p>

		<input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>平成28年4月に障害者差別解消法が施行され、民間事業者に不当な差別的取扱いの禁止や、合理的配慮（筆談・読み上げ等）が求められます。松山市としては、市ホームページやリーフレット等で具体例等を周知し、障がい者等に対する理解の促進を図ります。</p>	
3	<p>障がい者の方への理解を深めるポスターやアニメなど、学校内で自然に目に触れる状況をつくって次の活動につながるようにしてほしい。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>松山市では、「障害者週間」（12月3～9日）に合わせて、庁舎に横断幕を掲示するなど、障がい者に対する関心と理解を深めるための周知啓発を実施しています。</p> <p>小中学校では、関係機関が制作したポスター等を校内の掲示板等に掲示し、児童生徒への周知啓発に努めています。</p> <p>今後も児童生徒が障がい者に対する理解を深めるために、ポスターやアニメなどについて適したものを選定するよう、協議していきます。</p>	<p>障がい福祉課 中野 朱美 089-948-6353 学校教育課 吉岡 祐郁 089-948-6590</p>
4	<p>幼少期や児童・生徒期に、障がい者への対応を教育のカリキュラムの中に取り込んでほしい。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>小中学校の「総合的な学習の時間」などでは、松山市社会福祉協議会が設置するボランティアセンターから派遣される講師が、車いす、手話、要約筆記、高齢者疑似体験等を行う福祉体験学習を実施しています。</p> <p>平成26年度は、小学校38校6,735人、中学校11校1,126人の児童生徒が受講しました。</p> <p>また、障がい者施設等を訪問し、入所者との交流や福祉体験学習を行っている学校もあります。</p> <p>今後も福祉体験学習を実施する学校がさらに広がるよう、各学校に周知啓発していきます。</p>	<p>高齢福祉課 橋口 徳則 089-948-6410 学校教育課 吉岡 祐郁 089-948-6590</p>
5	<p>松山市の学校4校にボランティアとして手話を教えに行っているが、協力して色んな学校で広げて</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中	<p>一部の小中学校では、「総合的な学習の時間」やクラブ活動などで手話に取り組んでおり、専門的な知識を有する方にご協力いただくことは、児童生徒にとって貴重な</p>	<p>学校教育課 吉岡 祐郁 089-948-6590</p>

	いきたい。	<input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>体験になると思います。</p> <p>今後は、より多くの児童生徒が福祉やボランティアに対する理解を深めることができるよう、ボランティアセンターを通じて、各学校に手話等の福祉体験学習について周知啓発を行います。</p>	<p>高齢福祉課 橋口 徳則 089-948-6410</p>
6	子どもやボランティアに興味がある人に対して、ボランティアセンターから呼びかけや研修をもっとしてほしい。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>ボランティアセンターでは、各種ボランティア養成講座や福祉体験学習等を実施するほか、ボランティアコーディネーターを4名配置し、情報紙「おせったい通信」やホームページなどで様々な活動の情報提供を行っています。</p> <p>今後も松山市社会福祉協議会と連携し研修や体験学習の機会を増やすとともに、総合福祉センターで開催される「若草福祉まつり」などのイベントにあわせて、情報紙を配布するなどの情報提供を行っていくことで、ボランティア活動への理解や参加の促進を図っていきます。</p>	<p>高齢福祉課 橋口 徳則 089-948-6410</p>
7	障がい者の方と接することで理解が深まるので、小学校の体験学習の枠を広げて、各施設で体験をしてほしい。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>校区内に障がい者施設等がある小中学校では、「総合的な学習の時間」などを活用して、入所者との交流や体験学習を行っているところもありますので、体験学習を実施する学校が広がるよう、こうした学校の事例を紹介するなど、周知啓発に取り組みます。</p>	<p>学校教育課 吉岡 祐郁 089-948-6590</p>
8	助成金を申請してボランティア活動をすることがよくあるので、情報がわかりやすいところがあると事業が展開しやすい。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中	<p>ボランティアセンターでは、民間の団体が実施する各種の助成金について、情報紙「おせったい通信」やホームページ等を通じて情報提供を行っているほか、助成金の情報をまとめた一覧表を作成・配布していますので、ぜひご活用ください。</p>	<p>高齢福祉課 橋口 徳則 089-948-6410</p>

		<input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他		
9	<p>大学のボランティアサークルを対象とした、障がい者への理解を深める研修会を開いたり、交流の機会を設けてほしい。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>大学のボランティアサークルの皆さんには、誰もが気軽に各種ボランティア活動の学習や情報交換を行う「ボラカフェ」をご利用いただくとともに、研修を実施される場合は、講師の派遣も可能です。今後も学生が気軽に参加して、交流や情報交換が行える場を提供していきたいと考えていますので、ボランティアセンターまでご相談ください。</p> <p>松山市では、市民との対話事業として「笑顔のまつやま まちかど講座」を実施しています。この講座には、障がいに対する理解を深め、一人一人が相手を思いやり、お互いに支え合う社会を目指して、意見交換を行うテーマを設けていますので、タウンミーティング課までご相談ください。</p> <p>また、市内の4大学の学生ボランティア団体を結ぶネットワーク「4-Rings」では、定期的に交流を行っていますので、市民参画まちづくり課までお問い合わせください。</p>	<p>高齢福祉課 橋口 徳則 089-948-6410</p> <p>障がい福祉課 中野 朱美 089-948-6353</p> <p>タウンミーティング課 富田 千春 089-948-6333</p> <p>市民参画まちづくり課 大石 和可子 089-948-6330</p>
10	<p>精神障がい者の方に対する啓発活動が重要。松山市では「こころの健康フォーラム」を開催されているが、その中の地域でのフォーラムを今後も継続してほしい。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>松山市としては、精神障がいを広く理解していただくために、精神保健ボランティアや松山市社会福祉協議会と連携し、当事者も参加して講演やバザー、人形劇などを行う「こころの健康フォーラム」を今後も継続していきます。</p>	<p>保健予防課 花崎 みゆき 089-911-1816</p>

11	<p>社会福祉士などのソーシャルワーカーの登用がまだまだ十分ではないので、色んな方面で登用されていくことを期待したい。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>複雑多様化していく福祉ニーズに適切に対応するには、ソーシャルワーカー（社会福祉士や介護福祉士等）の登用は重要であると考えていますので、松山市や地域包括支援センターの保健や福祉についての相談窓口には、それぞれの専門職（ソーシャルワーカー）を配置しています。</p> <p>今後も民間でソーシャルワーカーの登用が進み、より良いサービスが提供されることが市民福祉の充実につながると考えています。</p>	<p>高齢福祉課 橋口 徳則 089-948-6410</p>
12	<p>福祉部門で地道に活動している方や人と触れ合うことが楽しいということがメディアなどで取り上げられればよい。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>松山市福祉大会や若草福祉まつりのほか、松山市社会福祉協議会のホームページやボランティア情報紙等により、福祉活動の紹介や啓発活動に取り組んでいます。</p> <p>放送メディアについては、福祉活動の周知啓発に効果があると思いますので、松山市広報番組等の活用を検討します。</p>	<p>高齢福祉課 橋口 徳則 089-948-6410</p>
13	<p>職場の理解が得られず、ボランティアに行けなくなったという話も聞くので、職場や企業自体の理解が深まる機会があればよい。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>ボランティアセンターでは、小中学校のほか、企業や各種団体に対しても福祉体験学習を実施しており、平成26年度は19者に実施しました。</p> <p>また、平成27年7月には、松山市社会福祉協議会と13の企業が連携して、福祉の啓発や企業の社会貢献活動の促進を図ることを目的に「福祉サポートフェスタ」を開催し、約1,200人が参加しました。</p> <p>今後もホームページや情報紙などを効果的に活用し、市民や企業の方に福祉やボランティア活動について広く周知を進めていきます。</p>	<p>高齢福祉課 橋口 徳則 089-948-6410</p>

14	<p>市で、職員に対して車椅子の押し方や手話・点字などの障がい者への対応方法の研修を定期的に行っているのか。</p>	<p>■可能 <input checked="" type="checkbox"/>対応済 <input type="checkbox"/>今年度中 <input type="checkbox"/>次年度以降 <input type="checkbox"/>検討中 <input type="checkbox"/>不可能 <input type="checkbox"/>その他</p>	<p>松山市では、新採用職員を対象に、車いすの介助や視覚障がい者への対応等の研修を毎年、実施しています。</p> <p>また、毎年、新採用職員と受講希望職員を対象に、市内16カ所の障がい者施設にご協力いただいて、施設での体験研修を実施しており、平成27年度は106人が研修を受講しました。</p>	<p>人事課 中矢 光一 089-948-6250</p>
15	<p>ボランティアをする人が少ない（特に男性）ので、松山市役所や企業の退職説明会時に、定年後の社会参加としてボランティア活動を紹介できる場を設けてほしい。</p>	<p>■可能 <input type="checkbox"/>対応済 <input checked="" type="checkbox"/>今年度中 <input type="checkbox"/>次年度以降 <input type="checkbox"/>検討中 <input type="checkbox"/>不可能 <input checked="" type="checkbox"/>その他</p>	<p>毎年1月に開催している市職員の退職者説明会では、地域で健康づくりに協力する「ヘルスボランティア」や、開発途上地域等の経済及び社会の発展に寄与する「JICAシニア海外ボランティア」の募集について、説明を実施しています。他のボランティア制度の紹介も可能ですので、職員厚生課までご相談ください。</p> <p>各企業での説明については、退職の時期や人数、規模等が企業によって様々ですので、ボランティアセンターが発行する情報紙やボランティアフォンを活用して、企業の退職者へ向けたボランティア活動の紹介等を行い、ボランティア活動への参加促進を図っていきたく考えています。</p>	<p>職員厚生課 宮内 裕男 089-948-6287</p> <p>高齢福祉課 橋口 徳則 089-948-6410</p>
16	<p>北条地域で学生と住民が交流できるサロンのようなものをつくりたい。</p>	<p><input type="checkbox"/>可能 <input type="checkbox"/>対応済 <input type="checkbox"/>今年度中 <input type="checkbox"/>次年度以降 <input type="checkbox"/>検討中 <input type="checkbox"/>不可能 <input checked="" type="checkbox"/>その他</p>	<p>北条地区では、住民主体の組織として「まちづくり協議会」や「風早活性化協議会」が設立され、多くの学生にも運営にご協力いただく中で、高齢者を含めた地域住民の方と触れ合っています。</p> <p>これまで聖カタリナ大学の留学生との交流会や、大学生によるまちづくり協議会のイベントへの協力、また、まちづくり協議会が主催する福祉講座に大学から講師を招くなど、連携を図っています。</p>	<p>市民参画まちづくり課 網矢 宏明 089-948-6963</p> <p>坂の上の雲まちづくりチーム 徳本 貴久 089-948-6991</p>

			<p>今後、聖カタリナ大学の方も参加するまちづくり協議会の役員会等で、学生と住民との交流サロンなどについて、検討していただければと思います。</p> <p>また、北条地域では、公民館や集会所など54カ所で60歳以上の高齢者を対象に「ふれあい・いきいきサロン事業」を実施しています。学生ボランティアの方にサロンの運営等に関わっていただければ、サロン活動もさらに活発になりますので、ぜひご協力いただきたいと考えています。</p>	<p>介護保険課 和田 いづみ 089-948-6949</p>
17	<p>団塊世代の男性にボランティアへ参加してほしいので、広報をしてほしい。</p>	<p>■可能 ■対応済 ■今年度中 □次年度以降 □検討中 □不可能 □その他</p>	<p>ボランティアセンターでは、情報紙「おせったい通信」やホームページ、携帯電話などを活用して積極的にボランティア情報の発信や紹介に努めていますが、今後は団塊の世代も含めた様々な世代の方にボランティア活動に参加していただけるよう、松山市社会福祉協議会と連携し、さらなる周知啓発に取り組んでいきます。</p> <p>平成26年度の還暦交流集会では、ボランティア活動を行っているNPOなどの各種団体が、活動内容等の紹介や、就職相談を実施して、退職後の社会参加の促進を図りました。</p> <p>今年度は事業内容の見直しを行い、団塊世代の皆さんの知識や能力を第二の人生で社会貢献に生かしていただけるような、未来を楽しめる、創造できる交流集会にしたいと検討しています。</p>	<p>高齢福祉課 橋口 徳則 089-948-6410</p> <p>市民参画まちづくり課 大石 和可子 089-948-6330</p>
18	<p>手話や傾聴などの研修や講座を開催してほしい。</p>	<p>■可能 ■対応済 □今年度中 □次年度以降</p>	<p>ボランティアセンターでは、初めての人でも参加できる福祉定期講座から専門性を高める各種講座まで、多様な研修を実施し、広報紙まつやまやボランティアセンターのホームページ等で受講生を募集しています。</p>	<p>高齢福祉課 橋口 徳則 089-948-6410</p>

		<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>また、要約筆記者や手話通訳者を目指す研修を希望する場合には、社会福祉協議会の聴覚総合支援室が養成講座を実施していますので、障がい福祉課までお問い合わせください。</p>	<p>障がい福祉課 中野 朱美 089-948-6353</p>
19	<p>災害時に福祉的ハンディを持っている方への対応を聞かせてほしい。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 可 能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>松山市は、避難行動要支援者の支援制度があり、支援の対象者が事前に登録すれば、災害時に消防局や民生・児童委員、自主防災組織、地域の協力員等が、安否確認や避難誘導などを行っています。一番身近な地域で助け合うためにはこの登録制度だけではなく、日頃から地域の皆さんと良好な関係を築き、防災訓練に積極的に参加することなども大切だと考えています。</p> <p>【避難行動要支援者支援制度の対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らしの高齢者 ・ねたきり高齢者 ・身体障害者手帳 1～3 級所持の方 ・療育手帳所持の方 ・精神障害者保健福祉手帳 1～3 級所持の方 ・難病患者（特定医療費（指定難病）受給者証所持者） 	<p>高齢福祉課 渡部 通子 089-948-6408</p>

* 【ボランティアに関する問い合わせ先】

- ・住所：松山市若草町 8-2 松山市総合福祉センター5 階
- ・電話：089-921-2141
- ・市社協HP：<http://www.matsuyama-wel.jp/vc/>